

学校教育目標 「自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒を育てる」

千代中の器

《学校だより》 第1号

令和2年4月14日発行
小田原市立千代中学校
校長 栢本尚之

新年度がスタートしました。時というものは、その流れ自体を感じとることはできませんが、常に止まることなく流れていて、“時間が経った”という結果をもって時は感じるすることができます。誰に対しても公平に時間は与えられています。時間を無駄にしないためには、一見逆のようですが、“いったん立ち止まってしっかり考えること”が、“時間を有効に使えた”という結果をもたらすのではないのでしょうか。

初めまして、こんにちは。4月に赴任した校長の栢本 尚之（かやもと なおゆき）です。学校は、新しい仲間を迎え、新しい教室になり、「生徒も先生も新鮮な気持ちでスタートが切れました」と気持ちよく言い切れないことが残念でたまりません。皆さんもご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の対策で、4月6日に着任式、始業式、入学式を行った翌日には、再び臨時休業が続いています。早くこの状況が終息して、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」といった子どもたちの元気な挨拶が学校に戻り、落ち着いた学校生活が送れるようになることを願っています。

千代中学校 着任式・始業式・入学式

4月6日(月)は、朝から着任式、始業式、入学式と行事が続きました。

2年生、3年生の生徒は、世の中の混乱に心乱されることなく、大変落ち着いた表情でそれぞれの式に臨んでいました。

着任式では、生徒代表からあたたかい歓迎の言葉と『千代中ヒーロー』の紹介などがあり、生徒全体が一つになってより良い学校づくりに取り組んでいることが、しっかりと伝わってきました。



新入生代表の言葉

引き続き行った始業式も、きちんとした姿勢で式に臨み、話に対して目を輝かせている生徒がたくさんいたことに、大変感激し、また、うれしく思いました。

ようこそ千代中に!

午後には入学式を行い、185名の新入生を迎えました。不安と期待の表情が入り混じった新入生が、学級担任から一人ひとりの呼名されて起立していく様子から、「児童」から「生徒」になった頼もしさのような成長の一瞬を垣間見たような気がしました。

本校の学校教育目標は、“考える力”と“考える習慣”を育成することを第一に掲げ、「自ら学び、主体的に判断し、行動できる生徒を育てる」としています。つまり、自分事としてちゃんと現実に向き合い、自分の頭で「きちんと考えること」、そして、「他の人と対話をして」、「その先どうなるかを、立ち止まってしっかり想像すること」ができる大人になってほしいと思っています。

そして、生徒は『千代中ヒーロー』として、「積極的に挑戦し一生懸命な人」「人の心を考えて行動できる人」「地道な努力ができる人」という3つの目ざす生徒像を掲げ、全校537名がこの目標の実現に向けて頑張っています。

今回の新型コロナウイルス感染症流行の早期終息を願い、学校再開の後、われわれ教職員一同は、生徒とともに学校生活がより一層充実するよう、日々の教育活動に当たって参ります。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



入学式：校長の式辞



第1学年担当の先生紹介

地域の一部としての学校



新しく10名の先生が着任しました

学校だよりのタイトル

「宥座之器(ゆうざのき)」について

栃木県足利市には、日本最古の学校
とされている国指定史跡“足利学校
(あしかががっこう)”がありました。
皆さんはご存知でしょうか。最盛期に
は三千人の学生が学んでいたそうです。

その足利学校で、以前、論語で有名
な『孔子』の企画展示を行っていま
した。そこに、宥座之器(ゆうざのき)
という物の模造品が展示されていま
した。この器のことは知っていますか?こ
の器は、空っぽの時は傾いていて、**ほ
どほどの量の水を入ると起き上がっ
て安定し、欲張ってまた水を入ると、
バランスが崩れて器はひっくり返っ
てしまい、空っぽになってしまいます。**

さて、私も実際に水を入れてみまし
た。やはり、最後の一杯を欲張ると、
見事に器がひっくり返って、せっか
くたまめた水を全て失ってしまいました。

この器は、「物事は、やり過ぎず、ほ
どほどに」「あまり無理をしないように」
「謙虚でいること」など、いろいろな
ことを教えてくれました。

先日、早朝ジョギングをやりすぎて、
足の爪が2枚はがれてしまいました。
この年齢になると、無理をしても誰
も止めてくれません。”立ち止まって考
える習慣”をつけることは、私にこそ
言えることなのではないでしょうか。

～ 令和2年度の教職員体制 ～ ※ゴシック体は着任者

校長 栢本尚之	教頭 小野寺敏子	教務 吉田健太郎	
第1学年	第2学年	第3学年	
学年主任 加藤太一(社)	学年主任 山田ななえ(英)	学年主任 伏見まり(保体)	
1組担任 木村友洋(英)	1組担任 細谷宗史(数)	1組担任 西山佳代子(数)	
2組担任 清水咲希(国)	2組担任 河瀬綾子(英)	2組担任 星野靖仁(理)	
3組担任 岩田大地(保体)	3組担任 石井 豪(保体)	3組担任 高木清司(家庭)	
4組担任 鍛代佳那(音)	4組担任 山室航太(理)	4組担任 西山佳実(英)	
5組担任 鯉淵一輝(数)	5組担任 小西香澄(国)	5組担任 美本大輔(社)	
副担任 星野永朔(技術)	副担任 佐々木彰(社)	副担任 中村忠男(美)	
平田恭敏(国)	吉田健太郎(理)	小泉満利子(国)	
木村 薫(理)	池田祐子(養護教諭)	中山 望(数)	
谷 圭司(理)			
7組A担任 高松幸子	学校事務 清水直子	給食 高田美枝子	
青木裕美	特別支援教育非常勤 村山美咲	大曾根美穂	
7組B担任 岩本絵理子	個別支援員 橋本裕一	平松典子	
福田真巳	校内支援室指導員 福井 薫	SVC 榊 会美	
7組C担任 鈴木 真	校内支援室支援員 杉岡由利江	麻生夕紀	
7組D担任 田中秀利	スクールカウンセラー 二戸綾子	A L T Charlotte Zee yeng Lam	
	学校司書 橋本律子	P T A事務 飯田博子	
		校務用員 山本節博	
		矢後恭子	

教育相談コーディネーター 山田ななえ、西山佳代子